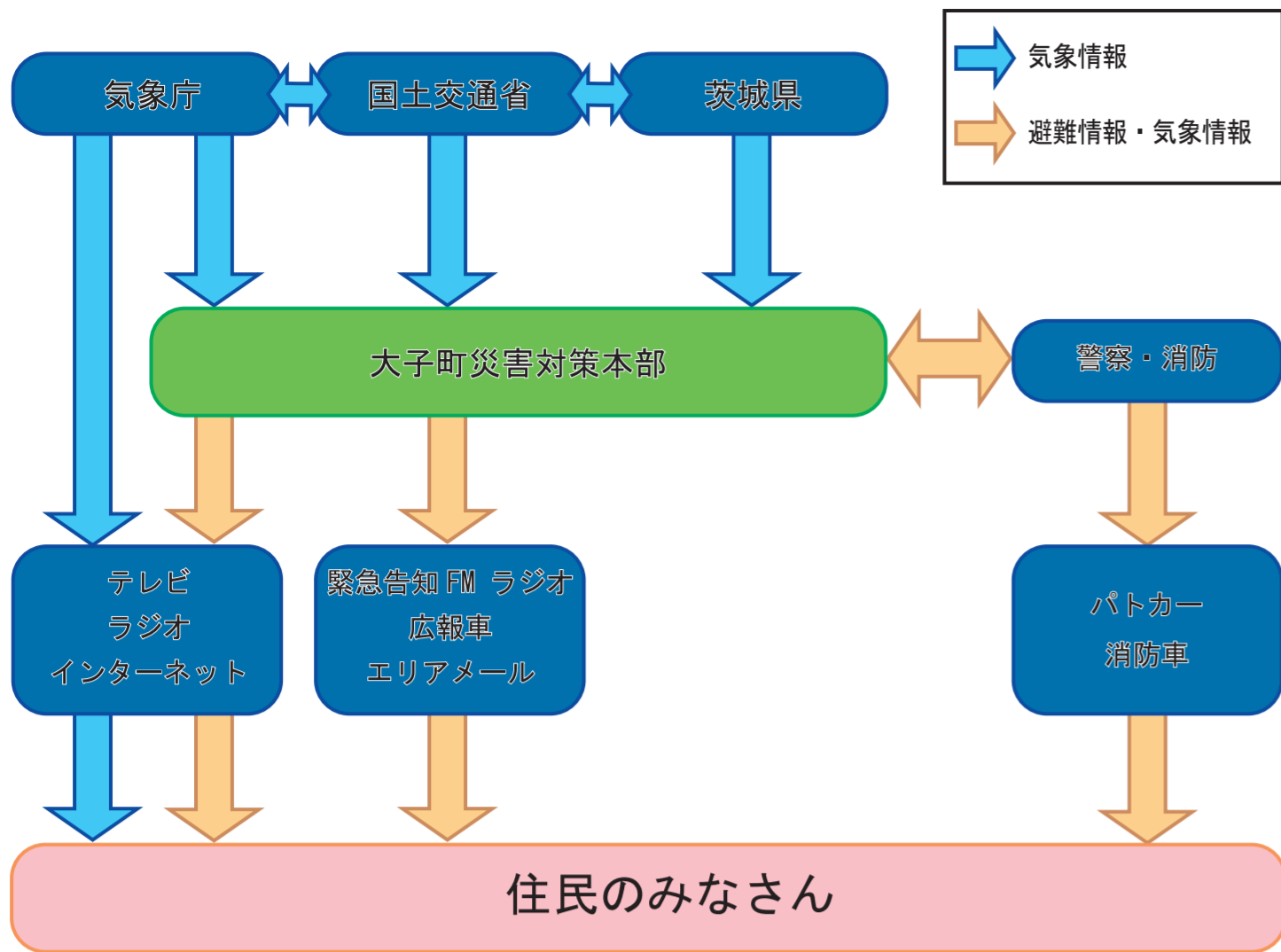


## 避難情報の伝達方法



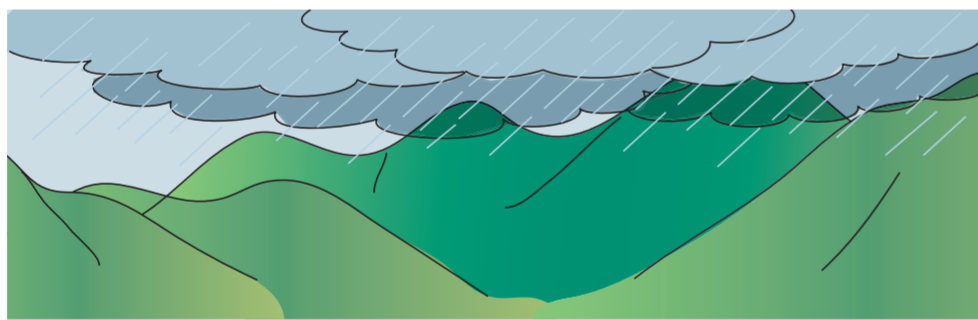
## 土砂災害時の避難情報の目安

気象情報	避難情報	町からのよびかけ	とるべき行動
大雨注意報			●ラジオ、テレビ、インターネットの情報に注意してください。
大雨警報	避難準備情報	〇〇地区のみなさんにお知らせします。大雨警報が発表されました。土砂災害の危険性があります。町から提供する情報に注意してください。	●ラジオ、テレビ、インターネットで情報をチェックしましょう。 ●お年寄りや子供は早めに避難させましょう。
土砂災害警戒情報	避難勧告	〇〇地区のみなさんにお知らせします。土砂災害が発生する恐れがありますので、避難を始めてください。	●あわてずに落ちついて、お互いに助け合って指定された避難所に速やかに避難を始めましょう。
	避難指示	〇〇地区のみなさんにお知らせします。土砂災害が発生する危険が切迫しています。	●指定された避難所に直ちに避難しましょう。

## 避難時の注意事項

### 土砂災害・洪水の発生に注意して行動してください。

大子町は、山が多く急傾斜地や斜面が多く存在します。大雨の時には、河川の増水だけでなく斜面や急傾斜地が崩壊する土砂災害にも注意してください。避難時には、土砂災害の状況にも十分注意して、安全な方向へ避難してください。



大雨が降ると…

土石流	地すべり	がけ崩れ
<p>土砂災害は、山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。</p>	<p>地すべりは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって、ゆっくりと地層界に沿って移動する現象です。一般的に移動土塊量が大きいため、深刻な被害を及ぼします。また、いったん動き出すと、完全に停止させることは非常に困難です。</p>	<p>がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。突然起きるため、人家の近くで発生すると逃げ遅れる人が多く、大きな人的被害をもたらします。</p>

このマップは、土砂災害防止法（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律：平成13年施行）に基づき、茨城県が指定した土砂災害危険区域・土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊、土石流により被害を受けるおそれのある区域）を示したものです。また、一部の区域については、水防法に基づき国土交通省関東地方整備局が作成した、想定最大規模の大雨により、久慈川・押川がはん濫した場合に予想される「浸水区域」が示されています。

### 注意してください

- マップに示した区域以外で発生する可能性もあります。
- 発災時には、周囲の状況を見て安全な方向・避難場所へ避難してください。
- 逃げ遅れた場合等は、近くの堅牢な建物の高層階や自宅の2階等へ避難してください。

災害の発生や前兆現象を見かけたら、役場に連絡しましょう。 ☎0295-72-1111

## 雨量・河川水位・土砂災害警報情報

ホームページや携帯電話から雨量や河川水位の情報が得られます。

気象庁	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
国土交通省（川の防災情報）	<a href="http://www.river.go.jp">http://www.river.go.jp</a> <a href="http://i.river.go.jp">http://i.river.go.jp</a> （携帯電話） QRコードを読み取れない場合には上記URLを直接入力してください。
茨城県（土木部）	<a href="http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/">http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/</a>

## 災害時の避難情報について

災害時において、町では「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」を発令する場合があります。これらの違いをよく理解し、自らの身を守りましょう。危険を感じる場合などは、町からの避難情報に頼らず、自らの判断で早めに避難しましょう。

区分	拘束力	内容
避難準備情報（災害時要支援者避難情報）	弱	事態の推移によっては避難勧告や避難指示が発令されることが予想されるため、避難の準備を呼びかけるとともに、災害時要支援者等の避難行動に時間を要する方に避難行動の開始を呼びかけるものです。
避難勧告	中	居住者に避難所への避難を勧め促すものです。
避難指示	強	被害の危険が切迫したときに発せられるもので「避難勧告」よりも拘束力が強くなります。

※ 災害時要支援者とは、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な方で、迅速な避難の確保を図るために支援を要する方。避難情報が発令された場合、NHKのデータ放送で避難情報等を確認することが出来ます。また、大子町内にいる携帯電話をお持ちの方へ、避難情報がエリアメールで配信されます。エリアメールが届く際、大きな音が鳴りますが御理解をお願いします。

## 洪水時の避難情報の目安

気象情報	種類	発表基準	町からの避難情報	町からのよびかけ	とるべき行動
大雨注意報					ラジオ、テレビ、インターネットの情報に注意してください。
大雨警報	洪水注意報	基準地点の水位が氾濫注意水位に達し、更に水位の上昇が見込まれるとき。	—		
	洪水警戒情報	基準地点の水位が一定時間後に氾濫危険水位に到達することが見込まれるとき、あるいは避難判断水位に達し、更に水位の上昇が見込まれるとき。	避難準備 高齢者等 避難開始	〇〇地区のみなさんにお知らせします。洪水の発生に関して、大雨警報が発表されました。□□川が増水しています。町から提供する情報に注意してください。	ラジオ、テレビ、インターネットで情報をチェックしましょう。お年寄りや子供は早めに避難させましょう。
	洪水危険情報	基準地点の水位が氾濫危険水位に達したとき。	避難勧告	〇〇地区のみなさんにお知らせします。□□川の堤防が決壊する恐れがありますので、避難を始めましょう。	あわてずに落ちついて、お互いに助け合って指定された避難所に速やかに避難を始めましょう。
	氾濫発生情報	洪水予報区間内で氾濫が発生したとき。	避難指示	〇〇地区のみなさんにお知らせします。□□川の堤防が決壊する危険が切迫しています。ただちに避難を始めましょう。	指定された避難所に直ちに避難しましょう。

## 雨の降り方と強さ

<b>やや強い雨</b> <p>1時間に10～20mm ザーザーと降り、地面一面に水たまりが出来る程度の雨。長く続くときは、注意が必要。</p>	<b>強い雨</b> <p>1時間に20～30mm どしゃ降り、傘をかきまわしてもぬれてしまう程度の雨。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崩壊が始まります。</p>	<b>激しい雨</b> <p>1時間に30～50mm バケツをひっくり返したような雨。道路が川のように流れ、山崩れや、崖崩れが発生しやすくなります。</p>	<b>非常に激しい雨</b> <p>1時間に50～80mm 滝のように降り、傘が全く役に立たなく、先が見えない程度の雨。マンホールから水が噴出したり、土石流などの災害が発生する可能性が高くなります。</p>	<b>猛烈な雨</b> <p>1時間に80mm以上 息苦しくなるような圧迫感があるような雨。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。</p>
●地面一面に水溜りが出来る。		●道路が川のようになる。	●水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	

## 気象庁が発表する気象警報等（大子町）

平成30年5月30日現在

注意報	大雨	表面雨量指数基準 9 および土壌雨量指数基準 71 流域雨量指数基準 久慈川流域 39.8、押川流域 13、八溝川流域 = 13.7、中郷川流域 4.8、初原川流域 7.1
	洪水	複合基準 久慈川流域（表面雨量指数 7、流域雨量指数 20.3） 押川流域（表面雨量指数 7、流域雨量指数 10.4） 八溝川流域（表面雨量指数 7、流域雨量指数 13.7）
警報	大雨	浸水害；表面雨量指数基準 23 土砂災害；土壌雨量指数基準 104 流域雨量指数基準 久慈川流域 52.8、押川流域 16.3、八溝川流域 17.2、中郷川流域 6、初原川流域 8.9
	洪水	複合基準 久慈川流域（表面雨量指数 7、流域雨量指数 52.2） 押川流域（表面雨量指数 7、流域雨量指数 14.6） 八溝川流域（表面雨量指数 7、流域雨量指数 15.4）
特別警報	大雨	・48時間降水量 282 以上及び土壌雨量指数 195 以上 ・3時間降水量 131 以上及び土壌雨量指数 195 以上 (平成30年10月1日現在)
記録的短時間大雨情報		1時間雨量 100mm

※表面雨量指数；降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを数値化したものです。浸水危険度を示す指標であり、気象庁が発表する大雨警報等の判断基準に用いられます。  
※土壌雨量指数基準；降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ溜まっているかを数値化したものです。気象庁が発表する大雨警報や土砂災害警戒情報等の判断基準に用いられます。  
※流域雨量指数；河川の上流に降った雨が、地表面や地中を通して河川に流れだし、さらに河川に沿って流れる量を数値化したものです。気象庁が発表する洪水警報等の判断基準に用いられます。

## 避難場所・避難所について

避難場所・避難所は、大子町が指定している場所及び施設です。

- 避難場所とは、災害の危険から身の安全を確保するために緊急的に避難をする場所です。
- 避難所とは、災害の危険に伴い避難してきた被災者等が、一定期間滞在するための施設等です。